

各関係機関団体の長 殿
各病虫害防除員 殿

福岡県病虫害防除所長

平成 24 年度病虫害発生予察速報第 4 号について

5 月上旬以降、予察灯やフェロモントラップでチャバネアオカメムシの誘殺虫数が増加しています。本年 2 月の越冬量調査でも 1 m²当りの越冬成虫数は 3.6 頭と、平成 17 年以降最も多く、地域によってはモモ、ビワ等に被害が予想されます。

速報 第 4 号

1 対象作物：果樹全般（モモ、スモモ、ウメ、ビワ、カンキツ等）

2 病虫害名：チャバネアオカメムシ

3 発生量（越冬世代成虫）：やや多

4 速報の根拠

- (1) 5 月 1～3 半旬の予察灯での誘殺虫数は、筑紫野市では 824 頭（前年 70 頭、前々年 43 頭）と過去 2 ヶ年より多く、八女市では 48 頭（前年 154 頭、前々年 14 頭）と前々年より多い（図 1、2）。
- (2) 5 月 1～3 半旬の筑紫野市におけるフェロモントラップでの誘殺虫数は、890 頭（前年 266 頭、前々年 661 頭）と過去 2 ヶ年より多い（図 3）。
- (3) 5 月 2～3 半旬の巡回調査で、スモモ、ナシ、カキ園で飛来が確認されている。

5 防除の注意すべき事項

- (1) 園内外での発生状況の把握に努め、飛来が多く被害が予想される場合は防除を行う。
 - ・モモ、スモモ、ウメ、ビワ等では、果実の吸汁による被害が予想される。
 - ・カンキツ類では、新梢や花を吸汁し、新葉の萎ちょうや落花の原因となる。
- (2) 農薬散布に当たっては、農薬使用基準を遵守する。
- (3) 最新の果樹カメムシ類の発生状況については、病虫害防除所ホームページを参照する。

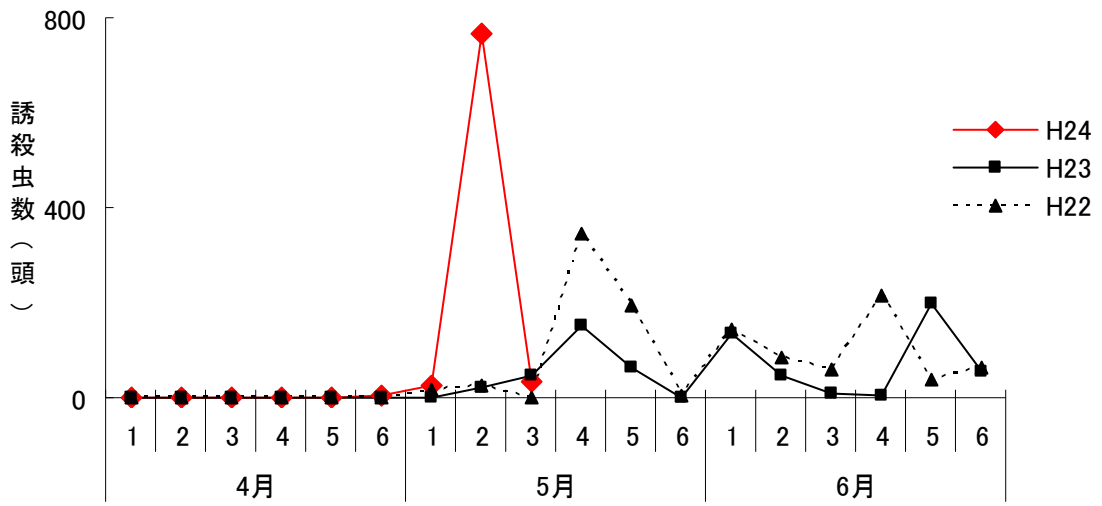


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況（筑紫野市吉木）

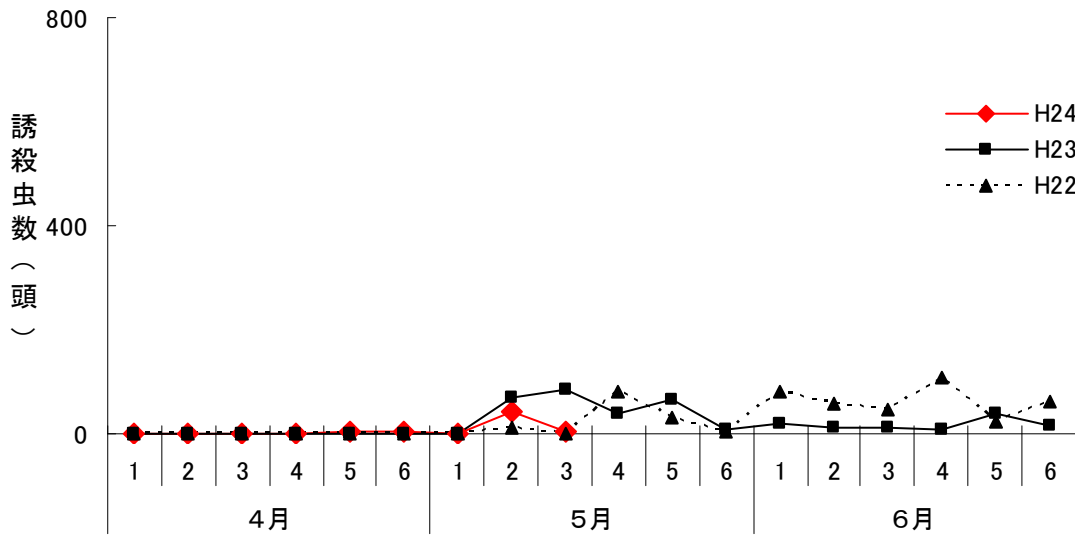


図2 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況（八女市黒木町）

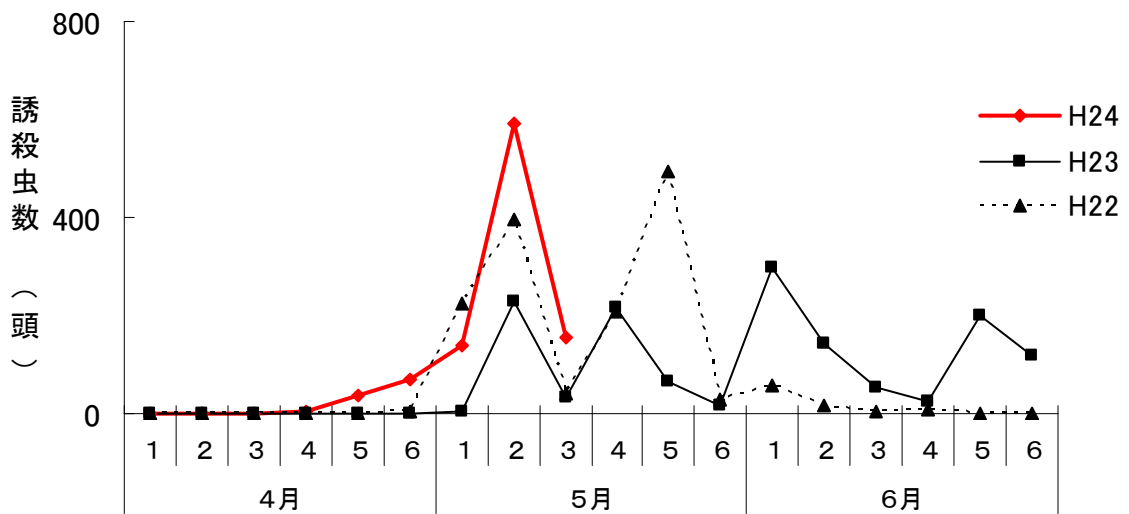


図3 フェロントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺状況（筑紫野市吉木）